

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

秋号
2021



風のおと

子ども達のために『体験活動を止めない』

2021年度も昨年度と大きく変わることなく、小学校・中学校の宿泊利用は、ほとんどキャンセルとなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により青少年の体験活動は大幅に減少しています。子ども達への「体験活動」の提供を止めないために、どうしたら良いか悩みます。しかし、何もしなければ何も生まれません。

渋沢栄一は、「逆境に処しては、断じて行え。決して惑うてはならない。」と言っています。もしも、心のどこかに「油断」や「諦め」があれば、そこで前進は止まる。成長は止まってしまうのだと・・・。

デルタ株の発生によりコロナ流行の終息はかなり先になる可能性が高くなりましたが、感染予防対策を強化し、新型コロナの流行と共存しながら、体験活動を行う努力をしたいと思います。

所長 松村 純子

あかぎをつかう!

令和4年度予約について

令和4年度の一般予約を、令和3年12月1日（水）9時から開始いたします。来年度こそは新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、平時のように子ども達の声が館内に響き渡る毎日がくることを願っています。

是非、ご利用のご検討をお願いいたします。





報告

限界突破キャンプ 上毛三山を登りました！

あかぎの
事業



告知！

体験活動を通じた 青少年自立支援プロジェクト

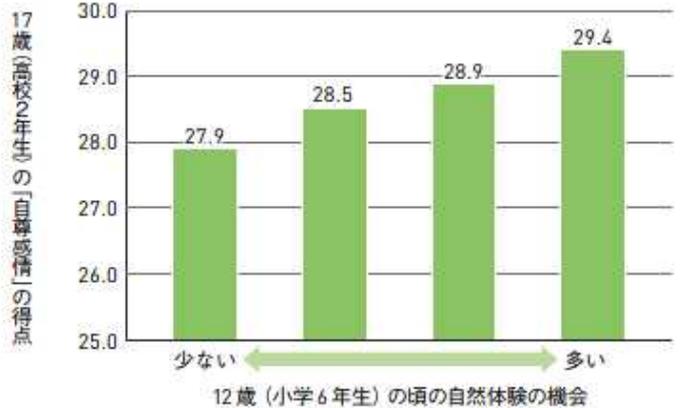
文部科学省が「令和2年度青少年の体験活動に関する調査研究結果報告～21世紀出生児縦断調査を活用した体験活動の効果等分析結果について～」を公表しました。

本調査の結果、小学校の頃に行った体験活動などの経験は、長期間経過しても、その後の成長に良い影響を与えていることが分かりました。

また、自然体験活動の機会に恵まれていると、家庭の環境に左右されることなく、その後の成長に良い影響が見られることが分かりました。

赤城青少年交流の家では、今後も多様な体験活動の機会と場の提供を通して、子どもたちの健やかな成長を支えていきます！（福岡）

令和2年度 青少年の体験活動に関する調査研究
報告パンフレット（概要）より一部抜粋



7月31日(土)～8月7日(土)に、「限界突破キャンプ」を実施しました。7泊8日の日程で、子供たちは仲間と協力しながら上毛三山(赤城山・榛名山・妙義山)を登り、カレー作りなどの野外炊事にも挑戦しました。参加者からは、「赤城山で一番高い山に登れて嬉しかった。」「登るのが大変だったけど、山頂についたとき嬉しかった、最高だった。」など、つらくとも頑張ったことの充実感を得られた様子でした。

これからの生活に、本キャンプでの体験が少しでも生かされることを願っています！（反町）

【体験ノススメ】

あかぎでこんなことができる！

【ネイチャークラフト】

交流の家では、たくさんの創作活動ができます。今回は、「ネイチャークラフト」を紹介します。秋には、たくさんの木の实を赤城の森で見つけることができます。秋の自然にふれあいながら、それらの素材を集め、材料の形を生かして自然物の作品作りに挑戦する活動です。土台のコスターを注文していただければ、すぐに作成できます。ぜひ、交流の家に来た記念に作ってみてはいかがでしょうか。

(塩原)



【スタッフコラム】

～職員オススメ! THIS IS AKAGI !!～

国立赤城の公式Instagramには、公式キャラクター「ササビー」の可愛らしい姿が満載！国立赤城にいらした際には、Instagramに載っているスポットを探してみるのもおすすめです。おさんぼ中のササビーに会えるかも・・・？（小林久）



フォローはこちらから！



国立赤城青少年交流の家 <https://akagi.niye.go.jp/>

TEL: 027-289-7224 FAX: 027-289-7226

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27 E-mail: akagi@niye.go.jp



【タイトルの「カラゴロリ」は、赤城名物の「からっ風」と雷の「ゴロゴロ」に由来します】